たつおか

第27號

発行兼編集人　北沢小太郎
印刷所　龍共印刷株式会社
長野縣下伊那郡竜丘村
発行所　竜丘村公民館

3月は近づくのに

餘りにも せまき門

＝中學卒業生は何処へ行くか？＝

例年通り一月以々より中学三年生の就職希望者の詮衡が始まつた。昨年は糸へん景気で紡績方面の求人が相当あり職を求める者に対し人を求める方が多かつたので卒業生の就職斡旋も楽であつたが、今年は状況が最近急変し、紡績原料不足の為求人数を大分減じて来た。当校でもその余波は甚大で生徒は毎日安定所の二階でペーパーテストや性能検査や面接テストを受けて二人に一人、三人に一人という高率な採用の門をくぐるべく小さい胸をおど〳〵させている。付添の先生方も一人でも多く希望工場へ採用してもらえるようにと懸命である。

一月二十八日までの状況

希望工場名	希望者数	採用決定	保留
天竜社本社工場	一	〇	
富士紡小坂井	二	二	
日東毛織工場	一	一	
倉紡木曽川	一	一	
仝　津	五	一	二
呉羽紡五	四		
富士紡鷲津	五	一	

高校入學志願者

高校入学希望者は別表の通りで考査は今年から中学校側で行うことになり二月二十三、四日の両日飯田東中学校で行われる。学区制も排され、どこの高等学校へも自由に受験出来るわけであるが、自分の能力と、身体、家庭の状況によつて全く自主的に学校選択をあやまらぬようにしなければならない。無理は絶対に出来ない。

学校名	採用人員	希望者数(11月)	現在	本校希望者数
高松	四〇〇	三五二		一一
風越	四〇〇	五四一		一四
長姫	二〇〇—二七〇	三七一		一〇
下農	二〇〇	二三二		一二
阿南	一二〇	八八		一
風越定時	五〇			一
長姫定時	一〇〇			二

今月の納税

健康保険（人頭割世帯割）
—二月二十五日—

所得税確定申告
昨年中の所得についての申告及納税
—二月二十九日—

固定資産税第四期分
分割納入の手続をした方で残り分全部
—二月二十五日—

一月二十八日の村議会

協議事項は
一、竜丘村特別職の給与に関する条例中一部改正の件　可決
二、竜丘村職員給与に関する条例中一部改正の件　可決
三、土地購入の件
1、厚生住宅用地（今村儀三郎）より百参九坪
2、駐在所建物用地（下田二三子）八十六坪
四、下伊那郡砂防協会結成について　加入と決議
五、道路整備期成同盟会について　加入　可決
六、報告事項
1、龍峡分校対策の件
2、時又会地線道路改修の件
3、飯田本郷線復員拡張の件

廣い耕地はいくらでもある

開拓可能地

近頃全国的に農村の二、三男問題は真剣に論議され話題となつている終戦によつて半分となつた国土へ海外の引揚者は帰り、農地はせばめられ当然の結論としてくるものは農村二、三男将来の問題に今ぞ若人の真に奮起の期である。

開拓に成功した天堤地区は、先般全国へラジオ放送した通り拓土三ケ年で模範開拓として全国の称賛を受けている、此の天堤地区開拓者が当初方針を定めたのか東山村内平均耕地は六反歩僅少の土地是非若人諸君の奮起を願い近日中に入殖座談会を開催し、本村の本針を決定の予定である。

現在の開拓可能地は左記の通り

大分県速見郡東山香村（入殖予定者）五〇
香地区であつたが種々の事情にて目的は達し得ず、天堤に変更されたのであるが、幸今回此の開拓理想郷東山香が地許並に県開拓地の斡旋にて入殖可能の見透がつき目下入殖者を募集している。

兵庫県三原郡田長町　〃　二〇
滋賀県栗太郡上村　〃　五
滋賀県滋賀郡和邇村　〃　五
計　八〇名

詳細　役場内農業委員会事務所へ御訊き下さい。

本村二、三男は現在三百有余人

ごしごし出掛けませんか
〃若人の奮起を待つ〃

○庶務　公民館事務局
村内該当者全員御出席下さい。

主食の販賣店登録はじまる

昨年から一年毎切替のお米等の販売店登録は来る二月十八日より二十日迄の期間に実施される事になつた。

消費者は自分の最も都合の良いと信じる米販売店を選んで登録する事が出来る。

尚本村の販売店申請は次の通りである。

時又食糧販売店（加藤）
駄科食糧販売店（上松）
松岡屋食糧販売店（岡島）
農業協同組合本所

区民大いに語る
—上川路分館—

新しい年を迎え私達の郷土をいかに前進させるか……

一月二十五日夜上川路区公民館にて区民多数出席、数々の重要な問題が夜十二時近くまで真剣に討議された。

みんなで祝賀
吾が村の成年式
3月8日開催と決る

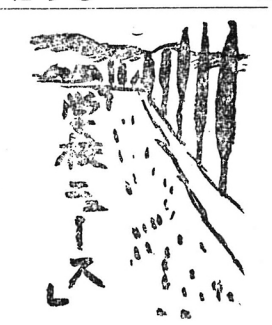
本年の成年者を祝う日は公民館運営委員会で各団体協議の結果、日程決定、該当者氏名は次号発表分担は次の通りにて準備を進める

○身体検査　保健衛生部
○リクレーション　芸能部
○テスト　教養部
○該当者名調査　青年会
○中食接待準備　婦人会

教育は學校だけの仕事ではない
生徒の生活指導をどうしたら良いのか？

去る一月二十九日十時半より学校向け「季節だより」の放送がありました。これは寒い一月でも長野県の北と南ではこんなにちがうということを、県下のお友だちに知らせたのであつて、南の様子を放送する代表としては私どもの学校がえらばれたわけであります。

放送内容は暖かつた元旦や近年にない大雪の様子、日当りのよい土手のふきんとう、山の南側にふくらんだねこやなぎなどそこへ見える春のけはいをとらえ、日記文にまとめたものであります。



学校放送
季節だより

〃PTA部落懇談會開かる〃

児童は五日制土日の連休と、長期の休暇で家庭や校外生活が多くなつた。この校外や家庭の生活をどのように指導したらよいか。

児童の自発活動を主んずる新教育の面からも、不良化防止の面からも、校内生活指導と並んで重要な問題であるが、これは学校側だけに委せておく可き問題ではない

児童福祉の面からみても「国民及び地方公共団体は児童の保護者とともに児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う」（第二条）とあり、これこそ教師、父兄、社会教育諸機関と共に指導の方法組織、指導計画を研究すべき問題である。そこでPTAでは指導者を頼んで、父兄側の自主的な研究を指導して戴くよう各部落別に数回会合し研究する。

左の日程に依つて
1、一月二十九日（火）
午後七時—九時　連絡打合会
2、二月七日（木）
部落としての問題を決定し、その問題について出来るだけ研究を進める
3、二月十一日（月）
教養部、校外指導部員会
4、二月十五日
研究会（午前発表）
午後　指導者青木先生の講演

定期講座のお知らせ

竜丘書道講座
◉とき　毎週金曜日　夜七時—九時
◉ところ　学校記念館
◉講師　片桐豪岳先生
◉主催　竜丘村公民館

和裁講座
◉とき　毎週火曜日　午前中
〃　金曜日終日
◉ところ　竜丘村図書館
◉講師　矢沢れい先生
◉主催　竜丘青年学園

希望者は各主催者に御申込み下さい。

綜合展覧會入選

昨年十一月下旬飯田市浜井場小学校に於て郡市学童綜合展覧会が開催され、本校からも苦心の結果になる作品が出品された。審査の結果左記のような成績を得、去る一月二十八日賞状をいただきました。昨年に比し一段と進歩を示したことについて、児童と共に喜んでいる次第であります。

入選作品　二十六点

	入選点数	賞	出品点数
教科			
社会科	四点	銀二点	六点
理科	六点	金一点 銀一点 銅四点	六点
家庭科	一点	銀	二点
図工科（図画）	八点	銀三点 銅五点	三〇点
図工科（習字）	七点	銀三点 銅四点	一八点

尚理科「草や木の実を集めましよう」二年東組は郡代表として県の展覧会へ送られ優秀作品として表彰されました。

どんな機會に悪の華が咲いたか
考えたい！25年中の少年犯罪の状況（縣下）

これを左に職業別に分類すると

学生生徒一三〇名　農業四九名
日雇労務者一七名　工員一一名
商業　六名　交通業四名
事務員　三名　その他有職者七名
無職　四五名

これは少年犯罪三七二名について調査したもので、この間に直接又間接に影響がそれ〴〵あつて明確に区分することは困難であるが、影響の度合の強さによつて区分して見ると

㈠少年犯罪の動機原因

家庭的		少年自身	
放任	六八	好奇心	二八
貧困	三五	英雄的自尊心	一九
愛情欠如	一八	いたづら	一六
父母欠陥	一二	一般的慾望	一六
不和	六	遊興飲食	一五
厳格	二	不良性	一一
甘い	二	過失	六
その他	五	興奮	四
計	一四八	虚栄心	四

社会的			
悪友の感化	四八		
学校教育	三一		
わい談	六		
違別待遇	三		
戦災による	二		
出版物映画等	一		
過重労働	一		
計	一〇〇		

㈡家出少年の實態

昭和二十五年中の長野県下における家出少年の実態を調査した結果その数六一一名にして、状況は左のようである。

家出の原因

イ、直接の動機となつたものは都会にあこがれて　恋愛のため
学校をきらつて　仕事をきらつて
自由を求めて　厭世から
等が大部分であつてその動機となつた原因について探究してみると

ロ、社会的に起因するもの二〇八名でその内訳は

悪友の感化	六九
経済的の逼迫の影響	三五
少年取扱上の欠陥	四一
道義のたい廃	三一
映画出版物の影響	三一

ハ、少年自身に起因するもの一四四名でその内訳は

意志薄弱	四〇
劣等感の強い者	一七
判断力の欠如	二五
反抗的性格者	一六
異状性格者	二一
神経衰弱	一六
低能児	九

ニ、原因が判明しないもの二五名

〃どうぞ御出席を〃
國保の部落懇談會について

国民健康保険では長い間熱望していた優秀な幻燈機を購入することが出来たので、婦人会を対象とした部落懇談会を次の要領で開くことにしました。

記

期間　二月より三月末日までの間
会場　各区三—六ケ所（婦人会で選定する）
内容
1、国保のあらまし
最近保険料一部負担金の滞納が多くなつて、県下でも最も優秀であつた本村の国民健康保険も運営が非常に苦しくなつてきたので主婦の方々に国保のあらましをお話して協力して頂きたいと思います
2、計画出産について
日本は戦争で貧乏になつたのに人口のみはどん〴〵殖えて行きます。二十秒に一人ずつ生れているそうで、その上人工妊娠中絶が年百五十万件あるとのことです。そして母体はその度に傷付けられていますので、日本の現状を頭において家庭の力と母体の健康度を考えた所の計画的出産について研究懇談をしたいと思います。
3、栄養改善について
栄養が私共の健康に非常に関係しますので極めて自然な栄養の取り入れ方についてお話したいと思います。
4、予防接種について
予防注射と云えばうるさい又かと申しますが、予防注射こそは私共を恐しい伝染病から守つて呉れるのでありますから、進んで受ける様婦人会の方々に御指導願いたいと思います。
5、性病予防について
恐しい性病を予防するため国保では成年式該当者、結婚する青年男女の姙娠等血液検査を実施していますので、婦人会の方々に勧奨して頂きたいと思います。

姙産婦に正しい知識を
「母親学級」開かる

総司令部公衆衛生福祉局のE・マチソン女史が日本の姙産婦の保健衛生思想の低いことを痛感されて、これに対する正しい知識を与えようとして生れた母親学級は昨年多数の受講者を迎かえて好評裡に終りましたが、本年も二月より開講しようとして、目下婦人会役員の方々により受講希望者を取まとめ中であります。希望者は最寄の役員へお申出下さい。

☆　☆　☆　☆

青年學園の近況

郷土産業振興のため勤労にいそしむ青年の勉学機関　青年学級の重要性が各方面から注目されて来た折、竜丘青年学園は勉学の好季節を迎えて真剣な勉学を続けて居る。

十二月十一日より冬期授業に入つてからは本科女子は週六日間の昼学と一晩の夜学、男子は週四晩の夜学、専修科和裁科は週二日の昼学を実施。尚特別講座としては竜丘村図書館及び竜丘連合青年会と共同主催にて毎週水曜読書会を開き、広く好学の青年諸氏に勉学の門戸を開き、毎週金曜日の夜は書道会を開講同好の士に斯道研究の便を与えている。

毎週一回実施の科外講話は十二月より北沢館長、竹上校長の青年期の倫理、中田美穂氏の竜丘の古墳と歴史等実施、最近の中に伊賀良校田田先生の性医学を予定している。

進行する交換分合

後から悔を殘すな

指定村竜丘の事業計画はいよ〳〵第一段階の部落懇談を終り、第二實施個別打合せの段階へ入った

事務局を訪れてその主旨と現在の状況を聞いた処職員は次の通り語つて居た。

農地整交換分合については前より村民の要望する処であつたこれに加え県より指定村とされ農業委員会と村民との精意により交換分合を実施する様になつた。

啓蒙宣伝の時期も終り実施の段階に入り部落推進委員の手に依つて着々と計画が進められている。

今交換分合をしないと一生取り返しのつかない事になります。それは切角の耕作地も人に売らなければならない様な時代がもう目の前に迫つて来ているからだ。ですからあなたは先づ自分の農地の状況を良く調べて見て直ぐに部落推進委員や、農業委員や、事務局に相談して下さい。

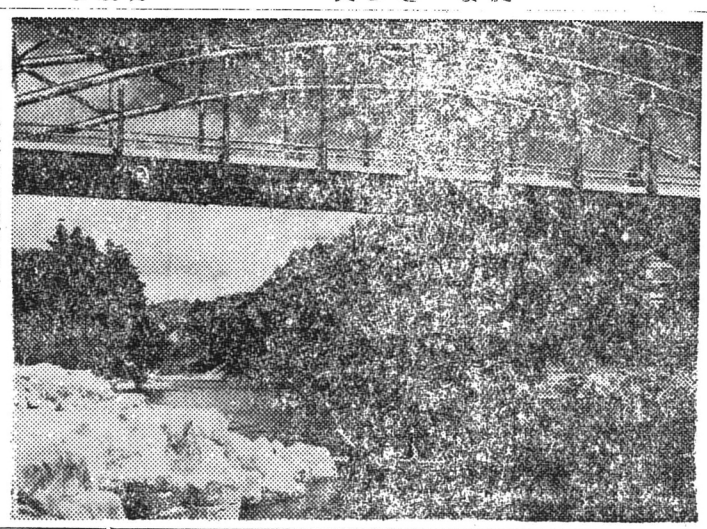
この様にしてお互いに明るい気持で交換分合を行い、后で不平や紛争を起さない様にする事です。部落推進委員の手に依る計画も進んで来て居るのでもうあなたの農地は計画に入つて居るかも知れません。

交換分合に依つて農業生活を安定させないと明日からの生活はもつと〳〵苦しくなるからその点を良く考えて御協力下さい。

積雪地帯事業補助決る

昭和二十六年度全国で二十億万円と決つた積雪寒冷地帯事業補助金は下伊那郡関係次の様に決定した。

（農　道）	
竜丘村	八二万五〇〇〇
河野村	七〇万〇〇〇〇
神稲村	七五万〇〇〇〇
清内路村	七五万〇〇〇〇
伊賀良村	一、二〇〇万〇〇〇〇
市田村	一、九七五万〇〇〇〇
（区画整理）	
鼎村	六〇〇万〇〇〇
山本村	七二万
牛田村	一、〇〇万
座光寺村	三、四〇万
三穂村	一、〇〇万
（溝渠排水）上郷村	八〇万
伊賀良村	一〇〇万
飯田市	三二〇万
（農キヨ排水）	



"村の記録映画製作進む"

本村の産業、文化、観光をうつす「記録映画」の製作は目下着々と進行して居り、映画の題名も「たつおか村」と決定した。特様に明日見学するのも近い。

南原橋から時又に至る天竜河畔の峡谷県立公園に指定され観光地として世に出されつゝある。写真はその一名所「港町時又」で名高い天龍橋附近―

ごうして犯罪をふせぐか？

"駐在所の窓より"

愈々独立国家としてゆく一九五二年を迎えたこの際に、防犯について申上げ皆様の御協力を願いたいとおもいます。

警察の話とか、裁判所の話とか云いますとかたい味のない話に始終思われておりますが、どなたでも一度自分のものを他人に無断で盗まれますと非常に盗む人に敵害心を抱くものでありますから、昔からよく云われている様に「転ばぬ先の杖」とか云う古い諺の通り盗まれぬ様、被害に遭からぬ様に一歩前進してふだんの心構が是非必要であるとおもいます。このふだんの心構と申すのも、別にむずかしいものでもありません。その一例を申しますと、夜寝る時に一度日中開けたてした戸を見て錠をかけておいて安心して休む事が第一条件であり、又出した物は入れる事であり、日中生活の上で使用した物はやはり人が目をつむりまして休む時は錠をかけて安心しておく処へ入れておく事であります只これは一例にすぎませんが、こうした心構と申しますか、しつけをつけて頂く事であります。

斯様に万端いたしたならある程度相手にすきを与えず、被害もより一層少くなるものとおもいますから、各人が自分のものは自分で片付けて頂けたらどんなにかなしみも少くなるでしょう。それでありますから竜丘村の皆様に一九五二年は次の事を守つて頂きたいとおもいますから御協力をお願いいたします。

一、万が一被害にかかりましたら早くお届出下さい

二、被害現場をそのままにしておいて下さい

三、警察官が現場にとどきましたらかくさず真実を云つて下さいまだ皆様にお願いして御協力を願いします事は山ほどありますが以上三点を是非お願いします。

一番盗人がよろこんでいるのは戸締の悪い家でありますから、御注意下さい。

次に最近非常に多く発生しているのは青少年の犯罪であります。この事は私が下手な事を云うより新聞やラヂオ等で御存じの通りでありますから、是非皆さんなの手で若い批判力の少ない青少年をすくいましょう。

この対策については四月頃に竜丘新聞の大切な紙面の一部をおかりしてお知らせいたしますつもりでおりますが、取り敢えず青少年の犯罪がありましたら早く、内密にお知らせ願います。この青少年の犯罪は大人の犯罪とは別にして取扱い指導いたしますから、是非早期発見して善道に導くことが大切ですから御願いします。

次ぎに申上げる事は学校、農協の盗難が非常に昨年は発生し、昨年はその為苦労いたしましたがそのかいがありましたが無駄尽きて犯人も検挙になりましたが、犯人の中の一人の自供が次の様に云つておりますから一般の方の防犯の御参考に供したいとおもいます。

學校　農協等か何故狙い易いか……犯人の供

客年十二月八日　東高原地区等において検挙した

本籍　下高井郡市川村七卷

住所不定　前科三犯内倉屋天（31）

は次の如く自供している。

1、犯行時　午後十二時から午前三時まで

此の間は人が静まり一番仕事がよしかし安全である

2、場所　一番安全なのは農協や学校で次は一般民家である

（イ）農協は職員が一般に割れているので、逃走口には侵入容易にできる

（ロ）賓直と賃貸部が離れているので侵入に好都合である

（ハ）学校の職員室は殆んど鍵がかかつていない

（ニ）机や抽斗は鍵がなく現金が必らず入つているので現金がとれる。

（ホ）学校や農協は建物が広いので防犯構造が不完全であり、安心して入る事が出来、必らず目的物が得られる

3、侵入口

裏口、勝手口横窓から入るが、こゝは安低ガラスが破れていてそこから鍵を外して入ることが容易である

2、逃走口

侵入するときは大低無理して入つているので、逃走口にはならないから他に求める。それは出入口を中から鍵を外して荷を背負つて出る方がよい

5、目的物を盗るときは

時間的余裕がないので手当り次第持つて逃げるのであるが、盗るときより逃げるべく荷を持出す瞬間が一番怠しい

6、落先の物色

犯行を為す前にあらかじめ落し先を物色するのであるが、知らぬ土地で刑務所で知り合つた先を尋ね故郷関係を頼むのが安全で主として朝鮮人や土地の闇屋を頼ゑてもらいそれから仕事を行なうのである

7、故買した金の使途

次の犯行の為に変装衣類を求めたり、その他煙草代、飲食代バンバン屋で使うとのことである

4-Hニュース

若人のグループ

竜丘4Hクラブの紹介

竜丘4Hクラブと名附けそしてグループの誓を上げると

「私は誓う」

○明せきな頭脳

○忠実な心

○人の為に役立つ手

○生活向上に必要な健康

○明るい家庭

○人の為に役立つ手

○生活向上に必要な健康

○明せきな頭脳

○忠実な心

○人の為に役立つ手

○生活向上に必要な健康

○明せきな頭脳

きれいな水道の水
うれしいな！うれしいな！
―竜丘學校水道落成　兒童作品を拾う―

すいどう
一年中組　ひらさわしげこ

すいどうができたので、つこうがいいです。だいくさんは、ほねをおつてしてくれました。みんなで手をあらつたり、みずをのんだりすることができます。
ほんとうにいろいろつごうがよくなりました。そしてみんなもよろこんでいます。
まえはあんなにこんだみずで手をあらつたり、みずをのんだり、ほんとうにつごうがわるくありました。
けれどこんどはつごうがいいのでみんなでよろこんでいます。みんなみずをたいへんださないようにすこしだしましようね。
まえにせんせいたちとすいどうのもとをみにいきました。
おべんとうをもつていきました。おひるになつたのでおべんとうをたべました。
みどりのはらつぱがありました。おぢさんたちがしごとをしていました。
おべんとうのときは手をきれいにあらいましよう。

水道
二年中組　北沢東洋子

わたしたちの学校ではこのあいだまでのんできたのみ水は、まるでたんぼや川の水をのんでいたときいていた。だからわたしは水をのむたびにきたないかしらと思いながらのんでいました。そして水のでない時は、口がかわいてもしかたがなしにがまんしていた。
てもことしの秋ごろは水道ができるときいて、どんなにきれいな水がのめるのだろうと、とてもうれしくなり、いえにとんでかえつておかあさんにはなすと、おかあさんは、きれいな水のでるのがたのしみだね、といつていました。
わたくしは、きようか、きようかと水のでるのをまち、村の大せいのおじさん、おばさん、にいさん、ねえさんたちのまいにちのすなはこびや、いしはこびをみてはどんなにうれしく思つたかわかりませんでした。
そしてぶんかさいの日に村の大せいの人のいるところで、たくさんのきれいな水をだしてのましてくれたので、早くできないかなあとまつていたのが、もうできたのだと思うと、ほんとに村の村長さんや、おじさんおばさんたちはよい人だと思いました。
いまは、きゆうしよくがはじまつているので、おちやわんをあらうにも、水をのむにも、すぐちかくに水道があるので、とてもつかいよい。わたしたちは水道にまけないように、おとうさんおかあさんや先生のゆうことをきいていつしようけんめいべんきようをします

詩
私達の水道
五年中組　河井豐美

水、水、きれいな水
きれいな水がほしい
と　私達は
毎日考えていたんだ
ゆめではないかと思うほど
あつちにも　こつちにも
きれいな水が
どんどん出る
×
手先が
せいけつになる
何と　うれしいことだろう
×
今まで
何年間かすごして來た
あの　あつい夏
あの　きたない水を考えた時
私はほんとうに
この　水を
いつまでも　いつまでも
たいせつにしたい

學校の水道
三中　木下武彦

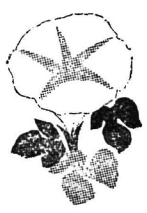
ぼくたちの学校に毎日待ち遠しみにまつていた水道ができました。水道をはじめてみた時、ぼくたちはうれしくてみんなで大喜びしました。水道のできない前は体操場のそばに小さないけがあつてそこまでいつ手をあらつたり、おそうじの水もくみました。雨ふりの時はにごつた水で手をあらいましたあんまりにごつているような時には手をあらうことができませんでした。今では水道ができてつごうがよくなりました。どろ水で手をあらわないでもすむようになりました。今では水道のねじをひねると水がいきおいよくでてきます。おそうじの時も水道を使います。きれいな水でおそうじすることはとても気持がよく早くすみます。村の方々が深くたちのためにいつしようけんめい作つて下さつた水道です。そのおかげで今は雨ふりでもきれいな水をつかつて手をあらいます。お水をたくさんのむこともできます。今まで外になかつた水のみ場が今ではつごうよくできて外であそんでいて、口がかわいた時でもすぐに水がのめます。教室をでるとすぐ水道です。勉強するのにもとても〜つごうがよく水が使えます。ぼくたちはだいじたこの水をたいせつに使いたいと思います。
水道を作つて下さつたみなさんほんとにありがとうございました。

映画案内
「公民館映画」
―二月録定―

☆CIE　天然色映画
（共同図書館（二巻）
アメリカの図書館の状況とその活動を紹介して居る映画
☆大映作品
緑の果てに手を振る天使
（全十巻）
週間朝日新報　原作三宮杉久
監督　加戸敏　撮影　杉山公平
＝会場の御知らせ＝
二月二十四日拾時　上川路分館
時又公民館
午后二時
午后六時半　学校
二月廿五日午后一時駅科公民館
午后六時半　長野原公民館

四年東組　斉藤光昭

こんど、ぼくたちの学校に水道ができることになりました。
今まで水がふべんでした、ぼくたちの学校が近所の学校では、水つごうのよい学校になります。九月の中ばごろはじめて、今は、もうすぐ完成します。校でいには新らしい足あらいばも出き、水をのむ所も、かつこうよく出きました。水がひつよ教室には水道が通つています。水を引いてくる所は、ちあまないという所からです。そのとちゆうに大きなタンクがあります。学校でそのちあまないという所へ見学にいきました。水の出る横あなの中に、はいつて見るときかいでほつていました。電気が中にはいつていて、電とうがついていました。タンクは人にきいたとうり大きなのでした。そこから道の中をほりわつて、てつかんをいけて学校までひいてきてくださつたのです。その工事中にはトラツクが、いくかいも通りました。ぼくたちが見にいつたときには、ひどいところをほりわつていました。
こんなにくろうしてつくつてくださつた水道を、ぼくたちはだいじにつかわなければいけません。
それでこのあいだ先生が、つかいかたをおしえてくださいました。
文化祭にはそのおいわいをして、水をだして見ました。ホースをつけて、あげるといきおいよくあがりました。そのときは、みんならしそうな顔をしていました。
それからは、そとの足あらいばには水があふれ出るようになりました。じゆう分のめるようにもなりました。
こんなにべんりになつたのも、村の方々や、先生方のおかげだと思いました。



私の感想。
村の方々の御協力により、私たちの学校にも便利な水道が出来ました。私はうれしくてたまりません。からんを一つひねれば、ざあ〜音をたて、水が流れ出る水道教室から一足出ればすぐ使える水道、なんと便利な水道でしよう。
私たちがこの竜丘学校を卒業してからも何年も弟妹などが毎日の学校生活に使つて行くことでしよう。校舎の中のいたるところ便所のところ、必要なところは便利な水道はどこにもある。おひるのとき手を洗いにいくとき、すこしの時間で洗え、きたない水で洗わなくてもよく、とても便利になりました。これらのことはみんな村の方々のおほねおりのおかげです。
水道が出来ない前の事を思い出してみれば、遠いところのきたない水で手を洗わねばなりませんでした。川へ水がこなかつた日などには、学校の近所まで重いバケツをさげて水をくみにいつたこともありました。雨の降つた日には、水がにごり、きたない水で手を洗いました。川の水をすこしばかりこしてきた水をのまなければならないので、病気にかゝらないように水を消毒しました。水をのむと消毒のにおいがして、とてもいやでした。
水の出ている日の方が、出ない日より少ないくらいでした。大へん不便でした。私たちの水が不便のため、村の方々がみんなでそうだんをして、水道をつくつて下さることにきまりました。私は水道が出来ると聞いたときに、とびあがる様どうれしく思いました。便利で清けつな水道が私たちの学校にも出来る様になつたのです。
人間生活にぜひ必要な水が、村の方々のおかげで学校に出るのです。この水道をつくるのにどのくらいのお金が必要なのでしようか先生のお話では、二〇〇万円だということです。毎日の生活に必要な水のためにこん次沢田のお金を出して下さるのです。お金の外父兄勤労力を出して、いそがしいところを竜丘村中の一家一家で出て働いて下さつたのです。
まんじゆ田のふもとから、学校までの長い道をほり、てつかんを道えいけたり、足洗い場のところをセメントでぬつたり、毎日毎日出て働いて下さつたのです。
こんなに村の方々が苦労して作つて下さつた水道です。水を大切に又カランなどをいためないように大じにつかつていきたいと思います。
水道を使用するには
○水をむだにしない。
○カランを大切にする。
○カランのまわし方に気をつける。
○水のいたずらはしない。
○バルを絶対にいじらない。
○流しへ掃除の水をすてない。
○流し場の附近をよごさない。
○流し場へごみをすてない。
これらのことをまもつて、水道を気をつけて使い、長く長く使える様にしたいと思います。
又そればかりでなく、毎日の学校生活を楽しく便利にし、学習しやすくして下さつた村の方々の御恩に対して、私達は立派な人間になり、社会のために役立つ人間になつてお礼をしたいと思います。
六中　中島二郎子

× × ×

こんじんさま
交換分合もいよ〜個人々々に語が押進められると思いがけない金神様の障りが、ちよい〜出て来てなか〜思う通り進行しない理想実現の為、委員は障害を越えて県命の努力をして居るがその委員の一人が一番文句の多いのは矢張り老人でも居て先祖代々の土地だからと言つて反対するのが多いと語つていた。
だが若い者が反対したと言つては世間態もあるしと言うので老人の反対と言う事に口実を設ける様な迷信がない様に願いたいものだ

喰はず嫌い
農村衣食住（セツツルメント）の女子講習会に或る日見学した一婦人が「私はセツツルメント」と言う事がわからなかつたので、何かむづかしい事をやるのか、そんなら娘を出席さしても、と思つて居たがこの様な良い講習なら惜しい事をしたと語つて居た。
世の中はとにかく喰はずぎらいが多い。

雪の朝
本年は実に雪が多い。今朝もうちの道へ雪かきに出たら、隣のおつさん、あいさつして言う事が良い。硫安が一俵一〇〇〇円もするんでおてんとうさまが気をきかしてアンモニヤを降らして下さると言うもんづら。
ドツコイシヨと。

村内こぼれ話
巷の聲は案外正しい　大衆の氣持が表れている……さて……

下げたり　上げたり
本年度の所得税決定申告の時期が来て、各区の税務協力員は連日役場へ集つて協議したり標準率を研究したりした。
新聞では本年所得税率を引下げて基礎控除三万八千円扶養控除三名迄一万八千円、三名以上一名につき一万五千円と大分引いて呉れるので良い按ばいと思つたら、農業所得税の各収入基準をたくさん引上げたので差引き計算してみたら実際は数割の引上げになつてた。これが下げたり上つたりか

竜丘連合青年會〝卓球大會〟
團体、時又青年會は二連勝續ける
二月十日快晴に恵まれた竜丘小学講堂で竜丘連青卓球大会が開催された。
各部落とも優勝旗は我が部落へと闘志みなぎる精鋭を選出し、熱戦を展開したが、栄ある優勝旗は時又青年会が獲得した。
又個人試合には、男子原今朝夫君、女子原和子さんがそれぞれ優勝した。

団体試合成績
一位　時又青年会　得点二六点
二位　桐林青年会　〃　二一点
三位　長野原青年会　〃　一五点
四位　駄科青年会　〃　一〇点
五位　上川路青年会　〃　八点

個人試合
男子　一位　原今朝夫
二位　岡村次郎
三位　宮沢重男
女子　一位　原　和子
二位　今村うた子
三位　小林　敬

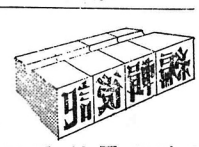
拾四日間の農村女性セツツルメント講習會終る
二月三日より十六日迄開講の衣食住生活改善に対するセツツルメントは東京自由学園大学の石川昌子、橋本恵子、山岡貫美子三女性と飯田友の会のリーダー名越節子山下富貴子、高氏登志恵、大原、下田、小塩、中島千代、三沢千春閑島、片山他数十名の組織的な分担で盛況のうちに会を終つた。
山路を遠く奈良村から通う女性や、二人の乳飲み子を持つて伊賀良村から来た夫人、喬木村富田等他村の参加者も熱心に通つた。
連日婦人会の人々も参観し更に受講生は毎日衣の農村改良嚢の研究に夜を徹してミシンを踏んだ。
毎朝一時間宛の読書は心の糧としてみなの人生観に大き力を与へた。閉講式は友の会より贈られた記念品を受け十四日間の講習の反省や報告が為された。

短歌会御知らせ
×とき　毎月一回
×連絡先　青年學園　岡村
×主催　竜丘村公民館　あかね会

短歌詠草
中田美稔
孤独なる想いに耐えて星に佇つ淵は朝風靡ふかく渡む
火の気なき炭に字を書き絵を画きつゝ我が見詫の果てもなかりし
林市郎
海原はかすみはるけしその果を舟漕ぐが見ゆ空を漕ぐ舟
稲の穂桑の葉の露月明かく颯風すぎし宵の静もり
今牧アキ子
海見ゆる左の側に磨を取れと父言い給ふ初旅のわれに
暮迫る相崎の海荐々と旅にくだくる波のみ白し
原丙三
公孫樹の大樹夕陽を受けて黄に光り風越山は黒くしづもる
桑の葉の摘み取られた坂畑の中なる墓地に咲けるコスモス
岡村美文
妻と乗る汽車轟きて大井川渡れるときに寒れゆく秋雨
水づきし処は麦が刈ると言ふ雨驟れし今朝の稲を刈りつぐ
中島哲
この秋の彼岸迄には亡き兄の石碑建てんとうから語らふ
寒退治けふぞ終りて家路せば門辺に老母の小唄聞ゆ

社會教育の實情はどうか？
＝研究会開催＝

文部省、長野県教育委員会では共催にて二月十五日飯田市教育会館で総合的に社会教育の実情を研究する会を開く。
郡下の報告村はPTA（座光寺）公民館（松尾村）青年会（大島村）婦人会（鼎村）リクレーション（竜江）視聴覚教育活動（大下条）本村は農村図書館の活動について北沢館長が報告した



雪の朝や、凍る冷たい夜、編輯のべんをとつて居ると温い部屋が欲しいなあと思ふ。
コタツでも火鉢でも部屋全体を温めるは余りに火が乏しい。
日本の部屋は余りに暖房が効かない。然しもう三月の日も遠くない。冬去りなば春遠からじ。冷たくなつた手を火鉢にかざし乍ら独りつぶやいて春を待つ心は強い。

◇　◇　◇　◇

本月は二十七年一月の現在で村の公職役職員名を全部載せた。たくさんある団体や公職をその人々が分担した責任をどこ迄やりとげるかに依つて、この村の自治は築かれて行く。無駄だと言う方があるかも知れないが、一応御批判を承り度い。

◇　◇　◇　◇

昨年十二月に開かれた北信の編輯研究会に塩沢君に出席していただいたので、北信からたくさん館報や村館を送つて呉れて嬉しい。
土地や村が異うが参考になる。どの村でもみんな良い新聞を出して居る。そして特色がある。個性がある。
この村の館報も村人のみな様の力でよく育てる事を御願いしたい

公職各團体 役職員名簿

—一九五二年—自から、お互にこの村を力をあわせてよりよくしなければならない。頑張りましよう。しつかり頼みますよ。

村内各種團体各機關の氏名を左に掲げました

（順序不同）

⊙役場

村長　林　省三
助役　関島　芳馨
収入役　熊谷　佐一

⊙村議会

議長　伊原　春男
副議長　北沢　小太郎
監査委員　伊原　悦雄
▲庶務委員　○印委員長
○伊原　悦雄　下平　貞雄
伊原　春男　北沢小太郎
▲土木委員
○塚平　善一　塩沢　喜一
小林　武男　中島　正三
原　寿代司
▲教育委員
○前島　秀夫　橋本　玄進
中平　三郎　山田政四郎
▲厚生委員
○中平　要　代田　きそ
塩沢　光男　中島　一男
▲経済委員
○下田　彦二　伊原　芳男
下平　久一　伊坪　久男
牧島貞太郎

⊙農業委員会

委員長　下平　広志
副委員長　下平　逸
委員
下平　一雄　中平右三郎
今村　恵一　金子　羊一
下平　貞雄　塩沢　正美
中島　久男　塚平　睦雄
前島　正三　久保田吉郎
岡村　賢作　折金　幸
伊藤　直人　下平　貢
下井田亀一　原　光人
下平　和一　折金　米男

⊙民生委員会

民生委員常務委員
橋本　玄進
委員
伊藤　祐一　吉沢さかえ
斉藤　喜八　折金　仲造
関島　林郎　下平　晴男
林　はる

⊙國民健康保健運營協議会委員

委員長　中平　要
委員
下平　勲資　林　信雄
北原　公祐　今村　薫一
橋本　玄進

⊙固定資産審査委員会

委員長　林　信雄
委員
塩沢盛太郎　関島　広三

⊙消防委員

委員長　伊原　春男
副委員長　林　信雄
委員
下平　久一　小林　武男
伊原　芳男　前島　秀夫
塚平　善一　下平　操
久保田吉郎　篠原　知式

⊙消防團

団長　前島　秀夫
副〃　長沼　保治
本部長
第一分団長　大平　晴司
副〃　下平　才介
第二分団長　原　頼人
副〃　中村　善作
第三分団長　塚平　代三
副〃　後藤　武次
第四分団長　森山　昇
副〃　中島　源吾
岡島　操　中平右三郎
山田政四郎　前島　英夫
岡島　耕平　小林　武男
下平　勲資　下平　祐一
牧内　貞吉　下平　広志
北沢小太郎
木下ふじゑ　松原　薫人

⊙公民館

館長　北沢小太郎
副館長　橋本　玄進
主事　下平　良明
教官　岡村　美文
教養部長　中田　美穂
副〃　木下　盛
芸能部長　松原　薫人
体育部長　岡島　耕平
副〃　折金　幸
林　一夫
社会部長　下平　清
副〃　高島　隆一
保健衛生部長　北原　公祐
副〃　高木　関
産業部長　久保田　勇
副〃　林　長男

⊙區会議員

区別　氏名　区別　氏名
駄科　下平　勲資　下平　清
下平　為一　久保田　貢
中平　良生　下平　喜三
牧島　与一　林　正司
吉川　宜　木下　盛
塩沢盛太郎　下井田幸一
長ノ原
今村　竜郎　塩沢　吉郎
今村甲子郎　小林　俊一
小林　玄吾　小林　計美
時又
河井　善一　岡島　耕平
沖山　米吉　今村　賢
林　厚男　安東　佳逸
沖田　源一　伊藤　亀雄
桐林
下平　祐一　中島　忠男
塩沢　佐富　桐生　実
原　登　原　道太郎
林　泰雄　中島　好男
上川路　小室　重雄　牧内　貞吉
塚平　清　窪田　幾男
木下　美治　井口　団造
木下　利男　杉本　晃

⊙各區分館長

駄科　下平　勲資
長野原　小林　武男
時又　伊原　春男
桐林　下平　祐一
上川路　牧内　貞吉

⊙壮年團

団長　岡島　操
副〃　田中　啓一
会計記録　下平　和夫
駄科支部長　伊藤　秀一
長の原支部長　吉川　通夫
時又支部長　下平　和夫
桐林支部長　林　広夫
上川路支部長　塚平　貞雄

⊙青年会

委員長　塩沢　稔
副〃　久保田昭三
会計　塩沢　利郎
原　よしゑ
副〃　小林　家司
庶務部長　伊藤　弘子
副〃　中島　寿文
文化部長　下平　幸枝
副〃　塚平　清俊
社会部長　下平　清子
副〃　下平　一郎
産業部長
体育部長　中平　民子
副〃　中平　富美
家政部長　池田　智子
副〃　松原　英子
駄科青年会長　久保田昭三
副〃　鈴木　美義
長の原青年会長　小林　家司
副〃　塩沢　謙治
〃　小林みち子
時又青年会長　倉沢　三男
副〃　橋爪　喜江
桐林青年会長　前島七五郎
副〃　高島　隆一
上川路青年会長　牧内　啓
副〃　森　富吉
〃　増田富貴子

⊙婦人会

竜丘村婦人会長　代田　きそ
副会長　下平　きよ
〃　伊原　節子
記録　高橋　梅子
会計　今村　きみ
駄科区支会長　林　さかえ
副〃　林　静子
〃　小島かずゑ
記録　牧内ゆきの
会計　関島みよ子
各班長
牧内　チカ　木下　治子
牧島　とよ　牧島　とみ
吉川　いし　吉川　とし
牧島　みや　市瀬　はつ
下平　きの　木下　とき
熊谷すがゑ　久保田ふみ
下平　あき　牧島　なか
牧島きみゑ　はね　千春
池上　春子
長野原支会長　斉藤　ひさ
副　今村　よね
各班長
小笠原正美　小林　こと
時又支会長　木下　楠枝
副　宮島　かつ
〃　伊藤　菊枝
記録　唐沢　れつ
会計　前沢とみ子
各班長
田中　デイ　松村　むつ
原　はつ　伊原　元
馬島　保恵　林　美保野
橋爪あいゑ　今村　コト
下田　さよ　下平　すみ
小松原かね　原　とじみ
宮内富美子　下平　よし
桐林支会長　原　邑子
副　原　よしゑ
副兼記録　中島かつ子
会計　佐々木ふみえ
各班長
下平ひろゑ　林　敏子
中島さかゑ　原　八千代
下平ともゑ　平沢とき恵
吉川しづゑ　小林　はる
新井とし子
上川路支会長　塚平さかゑ
副　牧内志津可
各班長
清水　政　井口はつゑ
金子　さと　久保田みよし

讀書會案内

繞書は人生の糧：冬の夜を、左の様な読書会に依つて、より深くより楽しく読みましよう。

A 文學讀書會

×とき　毎週水曜日
夜七時—九時二〇分
×ところ　竜丘村図書館
×主催　竜丘村図書館

B 経濟讀書會

×とき　毎週火曜日
夜七時—一〇時
×連絡先　青年学園　岡村
×主催　経済研究会

⊙酪農組合

組合長　今村　恵一
副　林　長男
会計　折金　幸
下平　翠　吉川　孝一
小林　家司　原　頼人
高島　啓二　林　保

⊙農事協同組合長

組別　氏名　組別　氏名
下一北　牧島甲一　北平二　伊藤栄三郎
下一中　小島兵次　北平三　中平　要
下一南　未　新井原　牧内　英志
下二北　未　駅前　小林　安
下二南　松永良弘　十七　未　久保田　源
下三　下平兼司　長一　下井田徳治郎
城陸　下平才介　長二　小林　正男
橋場　吉川哲司　観音　今村　代蔵
宮本　新井　実　時鶴一　河井　正直
寺下一　吉川忠則　時中央　伊原　芳男
寺下二　熊谷　茂　時町　未　宮前　塚平福一
北平一　沢柳真一　天龍　沖田　源一
下田　厳
駄科支部長　林　正司
桐林支部長　下平　秀雄

⊙商工會

会長　伊原　春男
副会長兼会計　松村　新八
厚生部長　伊原　悦雄
総務部長　高木　関
商業部長　塩沢　銀一
工業部長　小木曽　初志
観光部長　松原　薫人
庶務部長　沖田　一郎
監事　岡島　耕平

⊙土木振興會

塚平善一　塩沢喜一
原喜代司　中島正三
伊原春男　下平祐一
牧内貞吉　小林武男
下平勲資

⊙農業協同組合

組合長　岡村　賢作
専務　下平　保
常務　原　登
理事
下平　直人　下平　重人
伊東　岩雄　伊東　繞雄
塩沢　好吉　小林　俊一
河井　善一　沖田　武一

⊙森林組合

組合長　前島　頼輔
常務　塚平　善一
理事
関島　林郎　塚平　宇一
原　善市　林　信雄
小林　鎌吉　伊藤　祐一
監事
林　省三　原　春一
増田春一郎
山田　三郎　塚平　隆雄
増田　好雄　中田　金秋
下平　勝
監事
中平　源一　今村甲子郎
牧内　英志　原　勇
小室　一二　原　薫
前島　正三

⊙竜丘村防犯協會

会長　村長　林　省三
副会長　消防団長、教育委員長
PTA会長　前島　秀夫
委員
消防委員長　伊原　春男
公民館長
議会議長　北沢小太郎
中学校長　竹上　清人
小学校長　新井　芳実
警察官　篠原　知式
厚生委員長　中平　要
婦人会長　代田　きそ
民生委員（長）　橋本　玄進
伊藤　祐一

⊙PTA

顧問　林　省三
会長　前島　秀夫
副〃　岡島耕平　林さかゑ
新井芳実　竹上清人
常任委員
駄科　折金　幸　小島　兵治
林さかゑ
〃　吉沢さかゑ
〃　斉藤　喜八
〃　折金　仲造
〃　関島　林郎
〃　下平　晴雄
〃　林　はる
青年会長　塩沢　稔
壮年団長　岡島　操
消防団副団長　長沼　保治
〃分団長　大平　晴司
〃　原　頼人
〃　塚平　代三
〃　森山　昇
長の原　小林　誠　小林こと
時又　岡島耕平　下平　忠雄
今村ふき　河原きくゑ
上川路　長沼保治　清水幸子
桐林　前島維男　下平　貞雄
松田とよみ　中島ふじゑ
学校　伊藤祐春　松尾　利一
沢柳周一
渡辺伝蔵　宮川美佐雄
井原好一
正　副
総務部　前島維男　清水幸子
教養部　下平貞雄　林つね子
中島ふじゑ
施設部　下平忠雄　折金　幸
今村ふき
厚生部　小島兵次　長沼保次
河原きくゑ
校外指導部　小林誠　松田とよみ
小林こと
中野　節子　駄科　久治郎方
熊谷みつゑ　駄科　婿方
時又　宗一方
水野ヒロ子　時又
下平こなみ　駄科　泰男方

前團長に感謝状

寒風をついて行はれた消防團出初式

一月八日竜丘学校々庭に於て近村消防団長、警察、村会議員、消防委員臨席のもとに挙行、折からの酷しい寒風の中を三台の自動車ポンプ、一台のガソリンポンプ計四台の機動力は頼母しい雄姿振りを示して左の団員に県功労賞が授与された。

感謝状　前団長　伊原春男
県功丙　副団長　長沼保治
県功労賞丁　土屋男三　下平兼司
郡功労賞　羅田忠雄　森山　昇
大平晴司　中村善作
中島源吾　塚平銀次

表彰　十ケ年皆勤
牧島　茂実　久保田友直
小林　郁夫　沖田　房三
安東　欽二　小林　正徳
佐々木　元　清水　静雄
井口　正三　岡村　市郎
下平　康晴　下平　輝雄
中島　孝治
五ケ年表彰（十九名）
一ケ年皆勤
一分団三九名　二分団三七名
三分団三九名　四分団五二名

供米はあと一奮發

成績はあと一奮發

—現在一月末現在八八%—

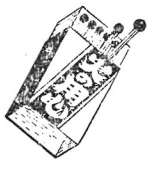
本村割当石数八四一石であつて一月末百%には未だ努力を要する

尚新聞紙上等伝えられる五万石の補正割当は尚いくら本村にあるか未定。

二月の出荷日は七、八日の両日

村びとのうごき

—一月分人口動態—



○届出は期間内に
○出生は十四日以内
○死亡は七日以内

出生（オギヤア、オギヤア）

原満智子　父棋三長女　時又
伊藤正直　父保直長男　駄科
熊谷よしみ　父清美長男　桐林
小木曽光　父源助長男　長の原
小木曽清子　父弘司長女　駄科

死亡（哀悼）

上松たみゑ　駄科　倭志雄方
熊谷　秀昭　上川路　和志夫方

婚姻

（めでためでたの若松様よ）

三ツ石喜平　関島　倫子　だ科より鼎村へ
横井　清　上川路
原口　和子　鹿児島県より
林　要三　桐林
佐藤ケアキ　喬木村より
下平　直尋　時又
大川トミコ　三重県より
小林　実　上川路より松尾村へ
平沢智津子
牧内　良夫
原山きぬ子　駄科より川路村へ
今牧　久治
今牧　保恵　駄科
伊藤　良雄
伊藤みつゑ　だ科

養子縁組

（養子に来た人今后よろしく）

時又　今村　信義
〃　今村　好子
駄科　今牧　信実
〃　伊藤　修一
〃　伊藤ミカエ
今村　武夫（時又）
坂口　久治（神原村より）
小笠原　良雄（鼎村より）

紙上質疑問答

（どんな事でも）

入会山の分割対策委員会は両村でどんな人々が交渉に当つて居ますか。（村人）

×

○答　代表は伊賀良、竜丘各村で十三名宛、本村では十三名の他に各区会議員、村会議員、各種団体長全員にて委員会を構成して居ります。

伊賀良村代表

伊藤村長、代田保雄（村会議長）宮下直雄（森組常務）松沢華蔵（北方）伊藤泰助（北方）今牧佳一（三日市場）古田孝治（三日市場）平沢平逸（上殿岡）北原宗一（大瀬木）矢沢治郎助（下殿岡）林茂義（下殿岡）

計　十三名

竜丘村代表

林村長、伊原春男、下田彦二、伊原悦男、下平勲資、小林武男、沖田米吉、牧内貞吉、下平祐一、前島頼輔、塚平善一、下井田茂利

計　十三名